

# 元ザ・タイガース瞳さん 台湾初公演へ



台北市内のライブハウスで、本番へ向けてドラムの音を確認するザ・タイガースの元メンバー、瞳みのるさん＝8月(共同)

# 日中台音楽で一つに

1960年代後半に一世を風靡(ふうび)したグループサウンズ、ザ・タイガースの元メンバーで、「ピー」の愛称で人気を博したドラマーで、京都市出身の瞳みのるさん(70)が12月、台湾で初のコンサートを開く。日本や中華圏に共通する唱歌や流行歌を通じて日台が一つになろうというユニークな企画だ。40年ぶりに音楽活動を再開させた瞳さんは昨年10月に中国北京でも公演しており、日中台3カ所での音楽連帯が実現する。

瞳さんは71年のザ・タイガース解散 分がかつて熱中した音楽や仕事にして後、芸能界や仲間とすっかり縁を切った。中国文学研究者に転身し中国語や漢文の高校教師を長年務めた。還暦が近づき次の人生のステージとして「自分 だった沢田研二さんが再会を呼び掛け

## 共通の唱歌・流行歌 演奏

瞳さんは中国と向き合うなかで、さまざまなメロディーが日中台で共有されていることに気がついた。米国由来の唱歌「旅愁」は明治期に来日した中国人留学生が中国に持ち帰り「送別」という題で広まった。「仰げば尊し」も原曲は米国の卒業歌で日本や日本統治下の台湾で定着した。

流行歌では沢田さんが70年代に歌った「時の過ぎゆくままに」が台湾で中国語カバー曲がつくられた後、中国でも流行。「アジアの歌姫」と呼ばれた台湾人テレサ・テンさんの曲は日本に続いて中国でもヒットした。

昨年の北京公演では、「旅愁」のメロディーが流れると中国人客が「送別」を歌いだし、会場が一つになった。

日中関係は領土問題でぎくしゃくし、中台は台湾の政権交代で冷え込み、日台は良好だが外交関係がない。だが瞳さんは音楽の力を信じている。「政治の壁があっても共通のメロディーでコミュニケーションすればもっと理解しあえる」

(台北共同)

# 宇宙

テントで



有人宇宙学実習 土井教授(左から) 学生たち＝11月 科区・京大花山

2015年9月の関東・東北豪雨で茨城県常総市の鬼怒川の堤防が決壊して2年となった10日、住民は犠

牲者を悼んで、決壊現場で黙とうした。市は水害を後世に伝える記念碑の除幕式を開き、災害に強いまちへの復興を誓った。豪雨では宮城、茨城、栃木3県で計8人が死亡。2人が犠牲になった常総市は特に被害が大きく、約3分の1に当たる約40平方メートルが浸水、5千棟以上が全半壊した。

住民らは決壊した午後0

## 障害者施設

男性重傷 栃木県

宇都宮市西刑部町の知的障害者支援施設「ビ・プライト」で4月、職員が入所者の20代男性を暴行してけがを負わせた疑いが強まり、栃木県警は11日、傷害容疑で同施設と運営元の社会福祉法人「瑞宝会」を家宅捜索した。男性は腰の骨を折る重傷。

捜査関係者によると、

男性は昨年8月に入所。今年4月中旬、午後から体調不良となり、救急搬送された。腰の骨が折れていたほか、腹腔(ふくろう)内に1センチを超える血液がたまった

2015 ねた